

2022年12月22日

受験者及び受験企業 各位

(一社) 日本溶接協会
九州地区溶接技術検定委員会



評価試験当日の受験票と異なる溶接材料を持参した場合の 猶予期間中の例外的措置に関して

平素は当協会に格別なる御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、評価試験のより円滑に実施する事を目指し、溶接材料(溶接棒・溶接ワイヤ・溶加棒等)の確認作業の時間短縮の為、2022年9月1日より試験当日の溶接材料の変更を承認しない事になります(欠席扱い)。

注意

当日変更を許可する猶予期間中の例外的措置をとります。

評価員による説明の上、当日の受験を認め、後日の適合審査で変更した溶接材料が e-Weld 登録されていない場合、不合格とします。

猶予期間は 2025 年 5 月末までの予定です。

猶予期間における統一的な措置のため、当日の受験を認めたくえ、後日、e-Weld に登録されていない場合には、不合格とします。

猶予期間中(2025年5月末日、但し、状況に応じて短縮する可能性あり)の受験票と異なる溶接材料の変更は認めますが、必ず、e-Weld 登録されたものを持参ください。猶予期間以後は一切、溶接材料の変更は認められなくなります。

評価試験で使用できる溶接材料リストは日本溶接協会 HP から確認ください(下記 URL から受験種目の内容にはいるか、裏面の QR コードを活用ください)。希望の溶接材料が登録されていない場合、指定の書式にて申請可能です。書式に関しては各指定機関まで問合せ下さい。

http://www.jwes.or.jp/mt/shi_ki/wo/archives/00/index.html

以上

評価試験で使用できる溶接材料リスト（日本溶接協会 HP から入手可能です）

手溶接(アーク溶接等)		銀ろう付	
半自動溶接		すみ肉溶接	
ステンレス鋼溶接		石油工業関係溶接	
チタン溶接		基礎杭溶接	
プラスチック溶接		<p>・(一社)日本溶接協会では規格外溶接材料使用による失格を防止するとともに受験者がWEB申込の際に多数の溶接材料から選択する煩雑さを低減するため、過去の試験で使用頻度の高いものを試験で使用できる溶接材料として登録しています。希望の溶接材料が登録されていない場合、指定の書式にて申請可能です。書式に関しては各指定機関まで問合せ下さい。</p>	

*QRコードは日本溶接協会ホームページの各溶接技能者の資格にリンクしています。e-Weldに登録された溶接材料は「4.試験に使用できる溶接材料およびガスについて」の評価試験で使用できる溶接材料リスト(PDF)からPDFファイルを開くことで確認できます。

以下にリンクした日本溶接協会の溶接技能者ホームページからも確認できます。

(http://www.jwes.or.jp/mt/shi_ki/wo/archives/00/index.html)